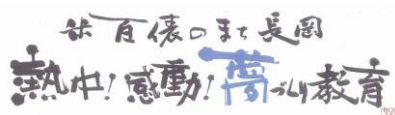


令和6年5月14日

報道機関各位



長岡市立上通小学校長

地域の特産を学びふるさとへの愛着と誇りを育む はなはすなえ 上通小3～6年生が花蓮苗を植え付けます

上通小学校は、学校独自の学習「はなはす・れんこん・かみどおりプロジェクト※」に年間を通して取り組んでいます。

このたび、プロジェクトの一環として、水鉢や学校前庭のビオトープに、鑑賞用の花蓮苗の植え付けを行います。

これは、ふるさとの宝を学びPRすることを目的に行うもので、児童の「大口れんこん生産農家さんや地域のために自分たちに出来ることをしたい」「長岡市民や長岡を訪れる多くの人に、大口れんこんや花蓮のふるさとである上通を知ってほしい」という思いや願いを込め、一つ一つ丁寧に植え付け、観察やお世話をしていきます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

花蓮苗の植え付け

- 1 日 時 5月17日（金）午後1時45分～2時30分
- 2 場 所 長岡市立上通小学校 児童玄関前（長岡市灰島新田10番地2）
- 3 内 容 3～6年生児童が、異学年交流班（縦割り班）に分かれ、組合の方に教えていただきながら、花蓮苗の植え付けを行います。
作業後に各学年の代表が感想発表をします。
- 4 参加者 3～6年生児童 50人、教職員
大口れんこん生産組合の皆さん



はなはす・れんこん・上通プロジェクト
イメージキャラクター「はなはすちゃん」



▲昨年の様子

※「はなはす・れんこん・かみどおりプロジェクト」

地域特産の大口れんこんや観賞用の花蓮を学習素材に、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、地域の宝の発信を通して思考力や表現力を育成することを目指して行う、上通小学校独自の取り組み。5月の植え付けから収穫体験、11月の蓮根販売、1月の感謝の会まで、年間を通して実施。

（問い合わせ：長岡市立上通小学校 教頭 長谷川 TEL:0258-66-2781）